

## 第 12 講 イギリス革命・アメリカ独立革命

- ① 次にあげるイギリス王朝を年代順に並べ替えなさい。  
①ステュアート朝 ②プランタジネット朝 ③テューダー朝 ④ノルマン朝 ⑤ハノーヴァー朝
- ② 正しい文章に直しなさい(誤り3点)  
ジェームズ 1 世は、カトリックを強制し、王権神授説を信望したことで議会と対立した。さらに、その子チャールズ 1 世の時は議会から提出された「権利の章典」を無視したことで議会と対立、アイルランド反乱を機にその対立は激化した。
- ③ピューリタン革命について正しく述べた文を選べ。  
①ピューリタンとは、カトリックの一派のことである。 ②国王は議会と妥協し、マグナ=カルタを承認した。  
③クロムウェルはピューリタンを弾圧した。 ④この革命の結果、共和政が成立した。
- ④ 正しい文章に直しなさい(誤り3点)  
17 世紀半ば、独立派を追放し国王が処刑されたイギリスでは、航海法が発布され、フランスとの戦争を引き起こした。その後、護国卿に就任し、カトリック的な独裁政治を敷くが、死後に王政が復古することとなった。
- ⑤ イギリスの王政復古～名誉革命に関する文として、正しいモノを1つ選べ。  
①ジェームズ 2 世で王政が復古した。 ②議会は印紙法を発布し、国王に対抗した。  
③革命により、新国王をオランダから招いた。 ④革命後にスコットランドが分離独立した。
- ⑥ アメリカ独立戦争の背景に関する文として、正しいモノを1つ選べ。  
①本国による重農主義政策に対抗した。 ②フレンチ=インディアン戦争以降に独立気運が高まった。  
③植民地人は茶法を発布して対抗した。 ④大陸会議で独立戦争への弾圧が決定した。
- ⑦ 次の事項について、年代順に並べ替えなさい。  
①ボストン茶会事件 ②独立宣言 ③ヨークタウンの戦い ④合衆国憲法制定
- ⑧ 独立戦争に関する文として、正しいモノを1つ選びなさい。  
①「独立宣言」では婦人参政権が認められた。 ②植民地人の大半は愛国派で、忠誠派・本国軍と戦った。  
③独立戦争後にペインは『コモン=センス』を著した。 ④ラ=ファイエットら義勇兵は独立側を支援した。
- ⑨ 正しい文に直しなさい(誤り2点)  
ルイ 16 世時代のフランスやスペインの支持、ロシアのピョートル 1 世の提唱による武装中立同盟結成で、イギリスはますます孤立して、ワシントン条約でアメリカの独立を承認した。
- ⑩ 州権限の強化を訴えたグループとその代表者の組み合わせとして、正しいものを1つ選びなさい。  
①連邦派(ハミルトン) ②連邦派(ジェファソン) ③反連邦派(ジェファソン) ④反連邦派(ハミルトン)

